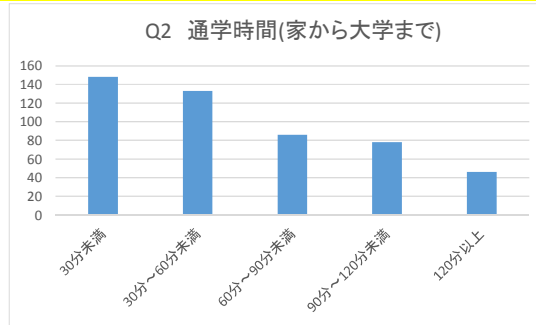
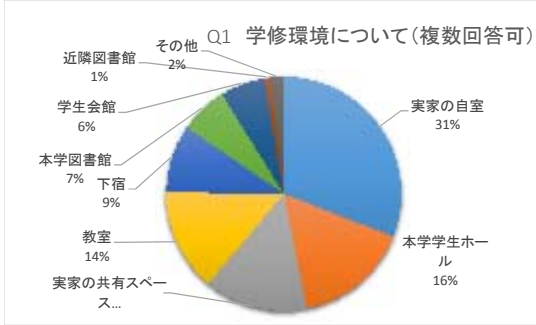
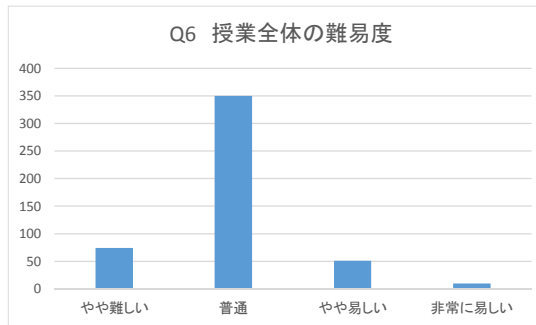
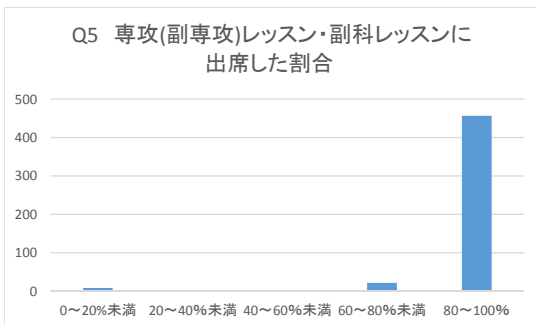
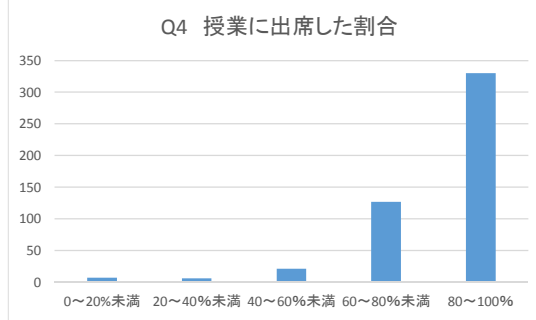
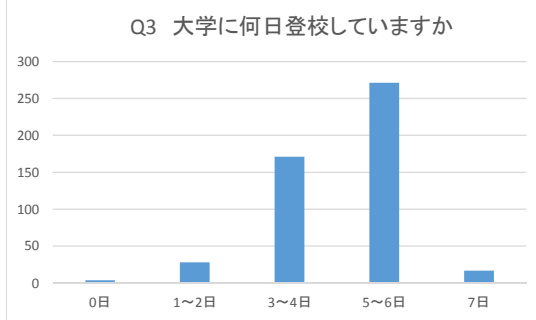


桐朋学園大学／2019年度 学修時間・学修行動調査（大学生680人対象／回答人数491人／ 回答率72.2%）

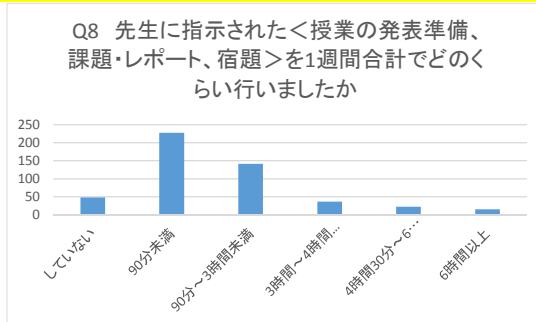
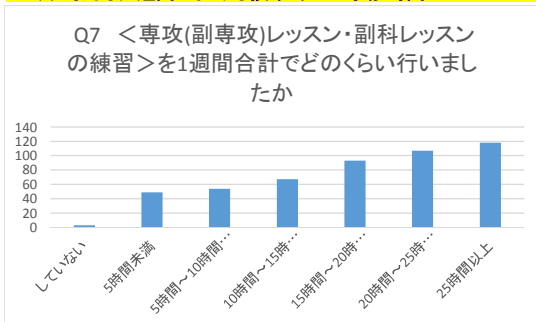
1. 学修環境について

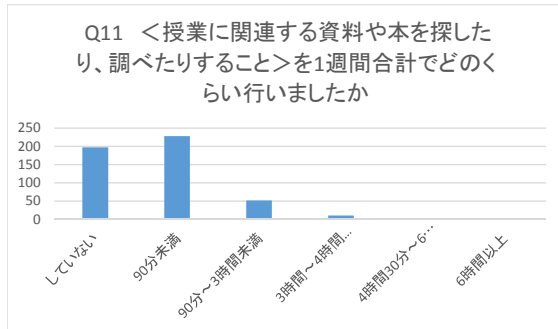
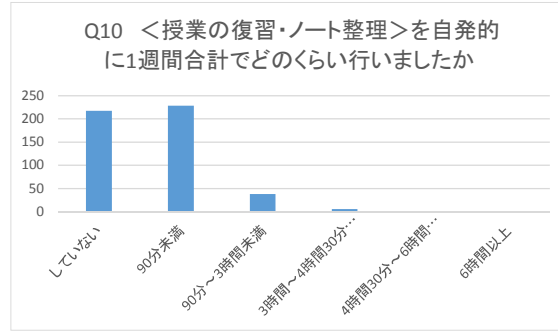
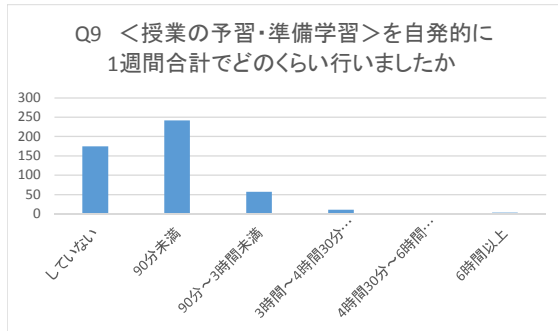


2. (平均的な)1週間における大学内での学修について

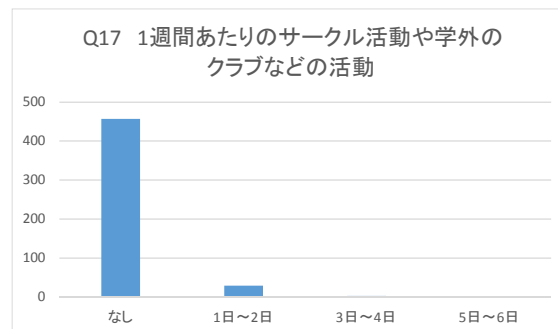
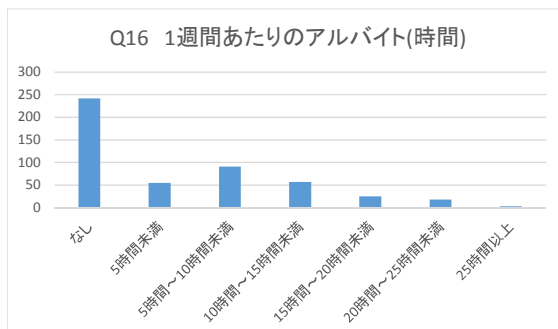
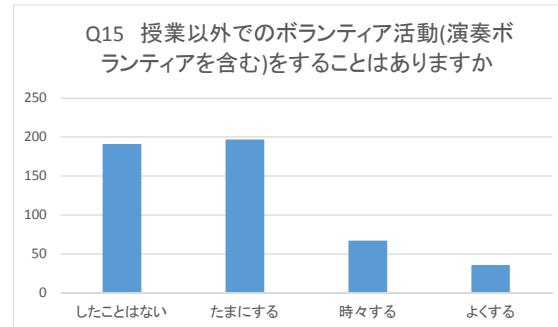
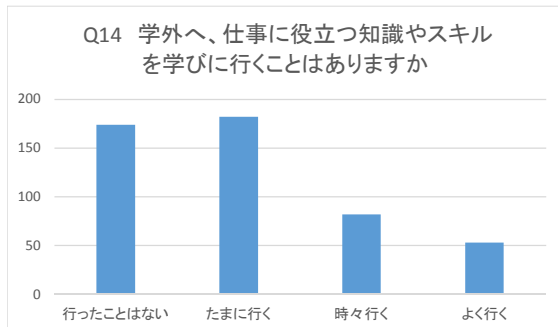
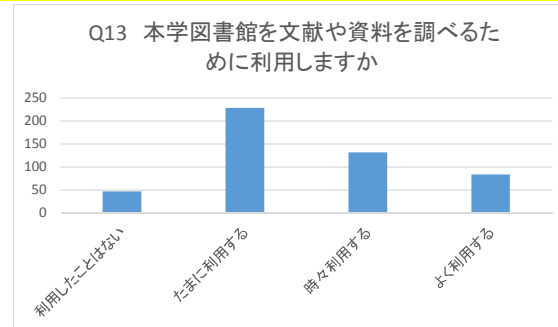
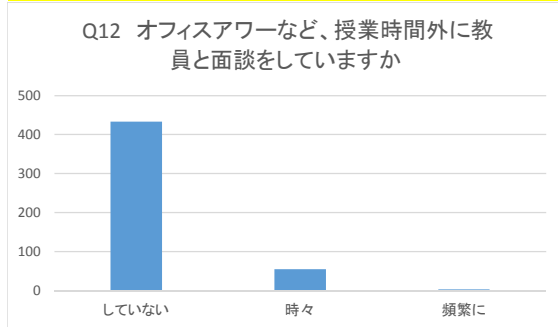


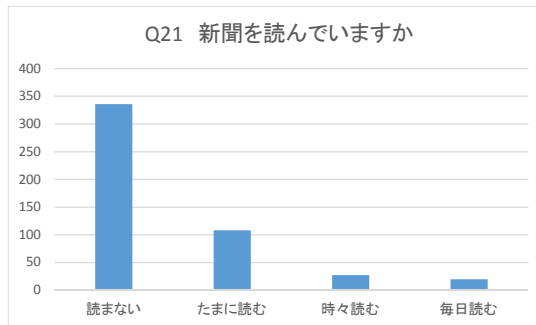
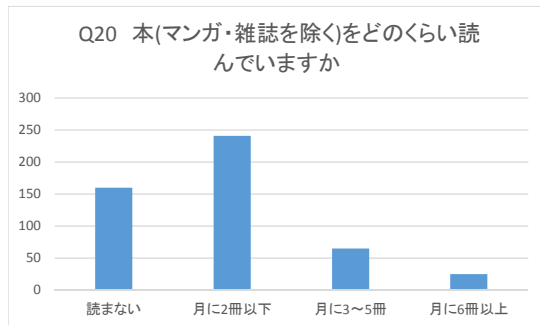
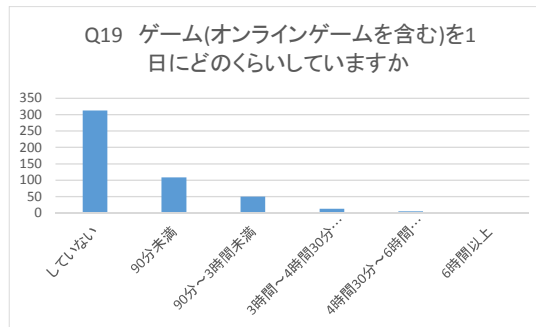
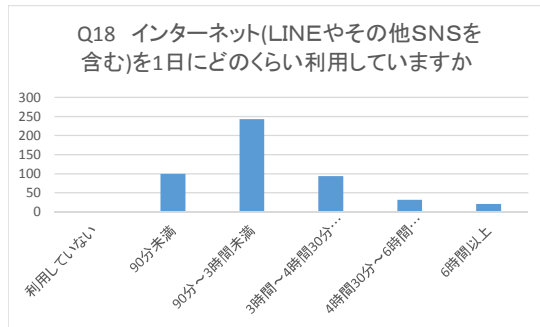
3. (平均的な)1週間における授業外での学修時間について





4. 授業以外の学修活動や普段の行動について





【今回の調査から見てきた傾向】

1. 約半数が1時間圏内より通学、週5-6日、授業を受講。学修場所は自宅、学生ホール、教室、本学図書館の順。
2. 平均的な1週間における学修時間は、予習・授業準備・復習に共に90分未満である。Q7実技練習に時間をかけている。
3. オフィスアワーはほとんどの学生が利用していない。学外活動としての学び・ボランティアは約40%の学生が経験している。  
外部のサークル等には参加していない。

【今後の検討課題】

1. 学生の学修時間及び学修行動について量だけでなく質も含めた意見交換、検討を行い、教育課程の編成に活用する。
2. 学内における予習、復習、自主的学修のための教育環境整備(自習室、利用時間、相談体制等)の充実を図る。